

## 中海における魚類のへい死に関する情報提供（第2報）

状 況 平成25年9月17日（火）

17日9:30頃 出雲河川事務所の河川パトロール実施中に、中海弓浜干拓地付近（鳥取県境港市小篠津町～渡町）の沿岸約4kmの範囲で魚類のへい死（3,000匹以上（広範囲のため詳細は確認中））を確認しました。なお、魚種は、サツパ、チヌ、ハゼが確認されている状況です。続報は以下のとおりです。

発生場所 鳥取県境港市小篠津町～渡町地先

発生原因 調査中

鳥取県水産試験場の現地確認結果は以下のとおりです。

・斃死した個体は腐敗が進んでおり、死後1～2日程度経過していると推察される。

・現在は、溶存酸素も高く、魚も沢山遊泳しており、正常な状態となっている。

国土交通省で現地の採水を実施し、急性魚毒性成分の分析を行う。（結果は後日）

回収量 約3,000匹（9月17日16:00現在）

今後の対応 明日以降も国土交通省で回収を行うとともに、引き続き、現地状況の監視を行う。

提供先

鳥根県政記者会、鳥取県政記者クラブ、米子市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 出雲河川事務所 水環境課

電話 0853(20)1763

水環境課長 柏原 良彦